

# 湘南フォーラム



総合計画の実現を目指して

府川 正明 議員

## 平塚市総合計画 (改訂基本計画)

**問** 重点施策Ⅰの「強みを活かしたしごとづくり」では、新港背後地に「しおかせ広場」が整備され、トイレなども設置された。今後の課題を伺う。

**市長** 4月1日から供用を開始し、来場者からは漁港や海岸、伊豆箱根の山並み、富士山の眺望に感嘆する声や、便益施設も整い便利になったとの意見を聞いている。今後は社会情勢に応じて魅力アップを図り、更なる集客やにぎわいの創出につなげていきたい。

**問** 重点施策Ⅱの「子ども

**市長** 子育て世代包括支援センターを開設し、妊娠前から子育て期まで切れ目のない支援体制を整えた。今後、病児保育などの特別保育の拡充や、中学校完全給食の早期実現に取り組む。

**問** 学校給食の新たな共同調理場整備の進捗を伺う。

**市長** 現在パブリックコメントを実施している学校給食基本構想・基本計画の素案を作成する中で、児童生徒数の将来推計を踏まえた検討をした。年内には事業手法を決定したい。

を産み育てやすい環境づくり」におけるこれまでの成果と、今後の取り組みについて伺う。

**市長** 地域包括ケアシステムの構築に向けて、在宅医療・介護連携支援センターを開設するなど医療と介護の連携を推進するとともに、高齢者よる相談センターを市内13圏域全てに設置した。また、認知症初期集中支援チームの設置などの認知症支援やフレイル対策に取り組んだ。今後は、地域共生社会や人生100年時代を見据えた取り組みを進めるとともに、地域包括ケアシステムを深化、推進することで、高齢になっても安心して元気で生きがいを持って暮らし続けられるまちを目指す。

**問** 重点施策Ⅲの「いくつになってもいきいきと暮らすまちづくり」におけるこれまでの成果と、今後の取り組みについて伺う。

**市長** 5回の募集を行い、合計3千台を有償配布した。災害情報を市民に伝える手段の一つであり、今後も継続して配布したい。

**問** コロナ禍において、2023年度までの改訂基本計画にどう取り組むのか。

**市長** 今まで以上に財源確保や事業選択を行い、感染症が社会経済に与える変化を見極めて施策を展開する必要がある。翌年度の実施計画が新たな日常を見据えた計画となるよう取り組む。ポストコロナでも「暮らし」に選ばれるまち・住み続けるまち」を目指す。

**問** 重点施策Ⅳの「安心・安全に暮らせるまちづくり」では、防災ラジオの有償配布を行ったが、何台配布したのか。また今後の配布予定はあるのか。

**市長** 5回の募集を行い、合計3千台を有償配布した。災害情報を市民に伝える手段の一つであり、今後も継続して配布したい。

# 日本共産党平塚市議会議員団

住民の思いに寄り添った行政運営を

松本 敏子 議員

## コロナ禍で苦しむ市民生活を守るには

**問** 国の交付金19億円のうち約半分が事業者支援であるが、市内事業者の実態を聞いて施策を決めたのか。

**産業振興部長** 商工会議所

などと話をすることで、総合対策の基本的な考え方に沿って施策を決めた。

**問** 今回の施策は、国・県の事業の後押しであって、コロナで苦しむ事業者を救うものになっていない。そのため7月に専決処分して

事業を実施しても進んでいない。国の支援策は基準が厳しく支援対象にならないため、家賃や固定費が払えず空き店舗が出ている。近隣自治体では、きめ細かく事業者を補助して喜ばれており、国の支援が届かない事業者をいかに救うかが重要である。予算が足りないければ、財政調整基金を活用してでも、事業者を守る

本気の施策を打ち出すべきではないか。  
**産業振興部長** 現在の売上減少の原因は、消費者が新型コロナウイルスの感染が怖くて外出しないことであると思う。そのため、感染予防をしながら経済を回していくという考えの下、施策を実施している。  
**問** 市内事業者は本当に苦しんでおり、今後も深刻な状況が続く。実態を把握することが重要であるが、事業者を回る考えはあるか。  
**産業振興部長** できるだけ

きめ細かく事業者の声を聴いていきたい。  
**龍城ヶ丘ゾーン整備**  
**問** 龍城ヶ丘自治会長が住民の署名を持って市長に面会を求めたが、会わないと回答したと聞いている。市長は、龍城ヶ丘ブル跡地の問題では一度も住民の前に出ていない。今後、住民と会って理解を求める予定があるのか。  
**都市整備部長** 本市が選定した整備計画をより良いものとするため、市民の意見

や要望を聴いているところである。担当が地域をはじめ市民に丁寧に説明し、理解を深めていく。  
**問** 市が実施した市民意見募集について、FAXによる回答257通のうち210通が同じ機種から送られていた。組織的なやらせではないかと考えるが、本当に問題はないのか。  
**都市整備部長** 特定の回答を外部に働きかけたことはない。提出されたものが個々の市民の意見であればよいものと考えている。

**問** 部長が選定委員会の委員を選んだということであるが、委員の中に市長の後援会長がいたことを知っていたか。  
**都市整備部長** 組織として選んでいるものであるが、当時は担当部長ではない。かつたので答えられない。  
**問** 市長は選定委員の1人が自分の後援会長であることを知っていたのか。  
**都市整備部長** 事務局で選んだ6人を市長が委嘱しているの、その人がいることは分かったと思う。

**問** 市民に対する行政運営の透明性に問題があると思うが、市長の認識を伺う。  
**都市整備部長** 事業者を選定するのに一番適任な人を選んだということである。



石田 雄二 議員

## 新型コロナウイルス感染症

**問** コロナ禍を乗り越える

**問** 将来的な人口減少を見据え、地域ケアから地域共生への時代の変化に万全を

**問** 感染者の発生件数はどのように発表されるのか。

**企画政策部長** 感染患者の情報は県が集約して報道発表しており、本市は県や平塚保健福祉事務所から情報を収集している。これを基にホームページで発生件数を発表している。

**問** 病児保育

**健康・こども部長** JR東海道線以南で社会福祉法人が整備を進めている。整備費を一部助成しており、令和3年4月の病児保育実施に向けて取り組んでいる。

### 声や点字の議会だより

目の不自由な方に市議会の活動状況をお伝えするため、議会だよりの内容を音声化した「声の議会だより」を発行しています。また、点字版も発行しています。ご希望の方は議会局までご連絡ください。

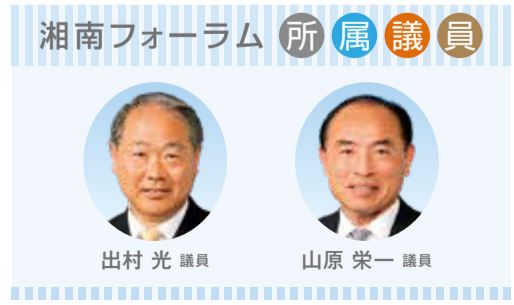
### 請願・陳情を市議会へ

皆さんの意見や要望を議会に伝え、市政に反映させる方法として請願と陳情があります。請願には賛同する議員の紹介が必要ですが、陳情には必要ありません。



期すべきである。施策の柱に通底するものは、支える側と支えられる側の関係性を超えた地域づくりと言えるところがある。今後の取り組みについて伺う。  
**市長** 昨年3月に地域福祉リーディングプランを策定し、地域福祉活動の推進や町内福祉村事業の充実、相談支援体制の整備など包括的に取り組んでいる。今後も、地域の住民や関係団体などが主体的に活動できる

よう取り組んでいく。  
**問** 病児になった子供を預けることができる病児保育施設を早期に導入すべきと思うが、考えを伺う。  
**健康・こども部長** JR東海道線以南で社会福祉法人が整備を進めている。整備費を一部助成しており、令和3年4月の病児保育実施に向けて取り組んでいる。



出村 光 議員

山原 栄一 議員